

## 51 回生シラバス

科目名：小児看護学概論 単位数： 1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 2 年次前期	
<b>科目目標：</b> ・小児看護の特徴と理念、看護の役割を理解する ・子どもの権利条約を学び、子どもの権利や倫理について考えることができる ・子どもと家族を取り巻く環境について理解する ・子どもの成長・発達について理解する ・小児保健統計をふまえ、小児と家族を取り巻く法律や保健対策を理解する				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2	小児看護の特徴 と理念	1.小児医療・看護の変遷と課題が理解できる ・小児看護の目指すところ ・小児看護の変遷 ・小児看護の課題 2.子どもの権利について理解できる	講義 GW ①	教科書① 第1章 【事前課題】 子どもに関連したニュースを探してくる。
3	子どもと家族を 取り巻く社会	1.小児に関する諸統計と母子保健・児童福祉について理解できる ・小児と家族の諸統計 ・母子保健法 ・児童福祉法	講義 ①	教科書① 第1章、8章 【事前課題】 教科書①P 図や表からの読み取り
4	子どもと家族を 取り巻く社会	1.小児に関する社会資源の活用が理解できる ・学校保健 ・予防接種 ・医療費	講義 ①	教科書① 第8章
5	小児看護における 理論	1. 小児に関する看護理論が理解できる	講義 ①	
6 7	子どもの成長・発達	1.子どもの成長・発達の原則と影響因子について理解できる。 ・成長・発達の概念、原則 ・成長・発達に影響する因子 ・発達課題と発達理論 2.子どもの成長・発達のアセスメントについて理解できる ・身体機能評価	講義 DVD ①	教科書① 第2章 教材 ①②③
8	終講試験		試験 ①	
教科書 ①(承看) 小児【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論（医学書院：eテキスト） 教材 ①ビデオ「すばらしき36ヶ月1」 ②ビデオ「すばらしき36ヶ月2」 ③DVD「赤ちゃんの1年 前編・後編」		評価方法 筆記試験：100点 評価基準 60点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

## 51 回生シラバス

科目名：小児看護援助論Ⅰ 単位数：1 (経過別看護)		担当者： ① 専任教員(臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 30 (15)	時期： 2年次前期
科目目標： ・病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について理解する ・特別な状況にある子どもと家族への看護について理解する ・健康課題をもつ子どもと家族への看護について理解する				
回	単元	単元目標と内容	方法担当	学習範囲 事前課題
1	乳児期の特徴	1.乳児期の特徴について理解できる	講義 ビデオ ①	教科書① 概論第4章 教材①②③
2	幼児期の特徴	1.幼児期の特徴について理解できる	講義 ビデオ ①	教科書① 概論第5章 教材①②③
3	学童・思春期の特徴	1.学童・思春期の特徴について理解できる	講義 ①	教科書① 概論第5.6章
4	子どもの認知	1.疾病・障害に対する子どもと家族の反応について理解できる	講義 DVD ①	教科書① 総論 第1章
5 6 7 8	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護	1.環境に特徴づけられる看護について理解できる ・入院中の子どもと家族の看護 ・外来における子どもと家族の看護 ・在宅療養中の子どもと家族の看護 ・災害時の子どもと家族の看護 ・検査を受ける子どもと家族の看護	講義 ①	教科書① 総論 第2章 教科書② 教材④⑤⑥⑦
9 10 11 12	子どもにおける疾病の経過と看護	1.子どもの疾患と経過に応じた看護の方法について理解できる ・急性期にある子どもと家族への看護 ・周手術期にある子どもと家族の看護 ・慢性期にある子どもと家族の看護 ・終末期にある子どもと家族の看護	講義 ①	教科書① 総論 第3章 教科書②
13	障害のある子どもと家族の看護	1.障害のある子どもと家族への看護について理解できる	講義 ①	教科書① 総論 第7章
14	子どもの虐待と看護	1.子どもの虐待と看護について理解できる	試験 ①	教科書① 総論第8章
15	終講試験			
教科書 ①(系看) 小児【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論(医学書院：eテキスト) ②こどもの病気の地図帳(講談社) 教材 ①ビデオ「すばらしき36ヶ月1」 ②ビデオ「すばらしき36ヶ月2」 ③DVD「赤ちゃんの1年 前編・後編」 ④ビデオ「生まれ変わる小児外来」 ⑤ビデオ「早く元気になりたいな」 ⑥ビデオ「学校に戻ろう」 ⑦ビデオ「パパ、ママがんばるよ！」		評価方法 筆記試験：100点  評価基準 60点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

## 51 回生シラバス

科目名： 小児看護援助論Ⅱ (子どもを護る技術)		単位数：1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数(回数)： 30 (15)	時期： 2 年次後期
科目目標： ・小児看護に必要な安全・安楽な援助技術を習得する ・検査・処置を受ける子どもと家族の看護について理解する ・正確に小児を把握するための観察内容・方法を理解する					
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2 3	小児看護を実践するための基礎知識 コミュニケーション バイタルサイン フィジカルアセスメント 身体計測	1.子どもとのコミュニケーションの目的・方法について理解できる 2.子どもの状態を把握するための技術・方法について理解できる		講義 演習 ①	教科書① 概論第4章 教科書② 第3章 教材①
4	子どもと遊び	1.成長発達に応じた遊びについて理解できる		講義 ①	教科書② 第1章
5	子どもと栄養	1.子どもの成長発達に応じた栄養について理解できる ・栄養の重要性と特徴 ・離乳食 ・食育		講義 ①	教科書① 概論第3章 教科書② 第2章
6	子どもの環境と安全	1.子どもを取り巻く環境を知り、安全防止について理解する。 ・事故防止 ・子どもの死亡など		講義 GW ①	教科書② 第1章
7 8 9 10	検査や処置を受ける子どもの看護	1.検査や処置を受ける子どもと家族への看護について理解できる ・採血 ・採尿 ・骨髄穿刺 ・腰椎穿刺 ・与薬 ・注射 ・輸液療法 ・吸引、吸入 ・酸素療法 ・経管栄養		GW 演習 ①	教科書① 総論第6章 教科書② 第4章 教材①
11 12 13 14	子どもと遊び	1.入院している子どもの遊びを考えることができる		演習 ①	
15	終講試験			試験 ①	
教科書 ①(系看) 小児【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論(医学書院：eテキスト) ②根拠と事故防止からみた 小児看護技術(医学書院：eナーストレーナー) 教材 ①シミュレーター				評価方法 筆記試験：90点 課題点：10点  評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり

## 51 回生シラバス

科目名： 小児看護援助論Ⅲ（看護過程）		単位数：1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 2年次後期	
科目目標： ・発達段階をふまえた事例展開を通して小児の看護過程を理解する ・健康障害のある子どもと家族について理解する						
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題	
1 2	小児に特徴的な疾患の看護	1.疾患の看護について理解できる		講義 ①	【事前学習】 事例に関する基礎学習 配布資料 教材①	
3	看護過程とは 事例提示 情報整理 アセスメント 問題立案	1.小児の特性をふまえた看護過程について理解できる 事例（どれか1～2例使用） ・気管支喘息 ・小児がん（白血病） ・ネフローゼ症候群 ・急性胃腸炎 ・口蓋裂 手術療法 ・心室中隔欠損症 ・大腿骨骨幹部骨折 ・糖尿病 2.子どもと家族の情報整理と解釈ができる		GW ①		
4	看護過程の展開 看護計画の立案	1.事例の子どもと家族に必要な看護計画を立案することができる。		GW ①		
5	看護過程の展開	1.看護過程の発表を行うことができる		発表 ①		
6 7	看護過程の展開 看護計画の評価・修正	1.事例に応じたプレパレーションの方法について演習を通して理解できる 2.シミュレーターを用いて、必要な看護の実践をグループで振り返りをし、計画の修正ができる		演習 シミュレーション GW ①		
8	終講試験			試験①		
参考教科書 ①(系看) 小児【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論（医学書院：eテキスト） ②(系看) 小児【2】小児臨床看護各論（医学書院：eテキスト） ③こどもの病気の地図帳（講談社） ④小児看護技術（医学書院：eテキスト） 教材 ①シミュレーター				評価方法 筆記試験 30点 課題 10点 他者評価 20点 演習参加状況 20点 グループ評価 20点 課題内容・提出状況で減点あり。  評価基準 60点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり